公園のみどころ紹介

今回の担当：ひろくん

2026年に公園で初めて見つかった生きもの

桑袋ビオトープ公園は、「かつての足立の自然を取り戻す」目的で 2005 年につくられました。地域の生きものが自然と集まり、暮らせる環境をつくっていますが、今回は 2026 年に初めて見つかった生きものをいくつかご紹介します。



・・ヤマトタマムシ・・

7 月と 8 月に、エノキの木などで見つかりました。緑色の体に赤や金色の模様があります。23 区内では準絶滅危惧に指定されています。

・・・キイトトンボ・・・



7 月にハス田で見つかりました。写真のように、オスは黄色い体が特徴です。23 区内では準絶滅危惧に指定されています。



・・・アカテガニ・・・

8 月にうき島池近くの林で見つかりました。ハサミの付け根が赤く、水辺だけでなく、草地や林などを移動することがあるカニです。

新たな種類や、絶滅が危惧されている種類が見つかることは、公園の自然環境が様々な生きものにとって暮らしやすくなってきた証とも言えます。次回の 1 月号でも、2026 年に初めて確認された生きものをご紹介します。

ビオレンジャー通信



★なってみよう！ビオレンジャー！

自然や生きものにふれたり、ビオトープ（生きもののすみか）の管理を体験します。興味のある人は説明会へ！

対　象：小学2年生～中学3年生

説明会：12月26日（土）13:00～13:30

※説明会はお子さんと保護者でご参加ください

★活動報告　生きもの調査



9月は網で生きものをつかまえて、種類を調べました。エンマコオロギなどが見つかりました。

★12月の活動　シジュウカラの巣箱のお手入れ

日　時：12月26日（土）14:00～16:00

公園内に設置している野鳥の巣箱の手入れをします。

ビオトープ生きもの図鑑

NO.111　クリオオアブラムシ



見つけやすい ←→ 見つけにくい

アブラムシの仲間の中では体が大きく、黒色をしているのが特徴です。12月頃でもクヌギやコナラの木の表面で見られ、時には集団でかたまっている姿を見ることができます。

ご利用案内

開園時間

2月～10月
9：00～17：00
11月～1月
9：00～16：30

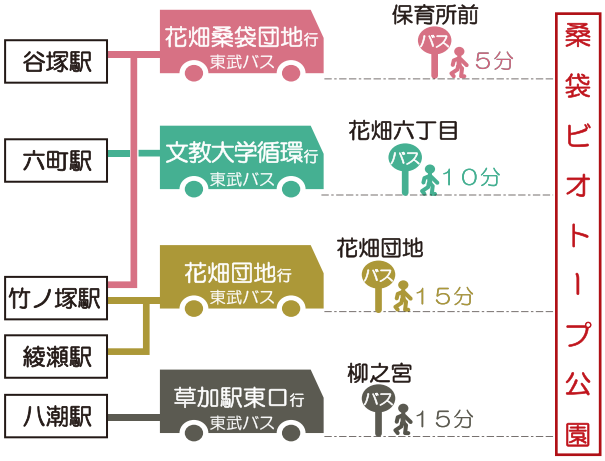
休園日

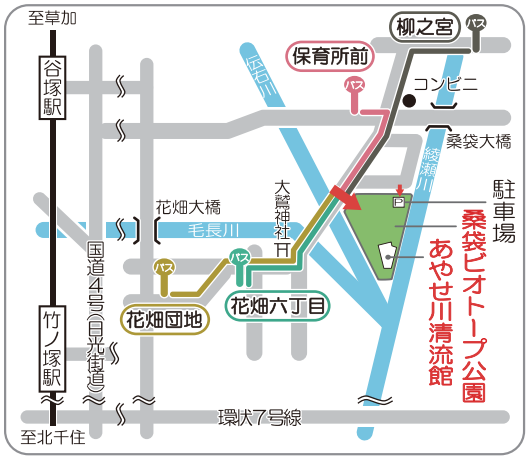
月曜日
（祝日・10月1日の場合、直後の平日）
年末年始
（12月29日～翌1月3日）

入園料　無料

駐車場　無料（11台）

交通案内





お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園（あやせ川清流館）
〒121-0061
足立区花畑8-2-2
TEL：03-3884-1021
FAX：03-3884-1041
HP：https://ces-net.jp/biotop/
E-mail：bio-park@ces-net.jp

HP　Facebook　X　Instagram

※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。

知ると分かる。すると変わる。
SDGs MODEL ADACHI
足立区
2026年11月発行